

経済学研究科入学ガイダンス

教科オリエンテーション
(大学院修士課程)

京都大学経済学研究科

2020年 4月

大学院経済学研究科の3プログラム

研究者養成プログラム

- ▶ 経済学研究科博士後期課程への進学を前提に、研究者を養成することを主たる目的とするプログラム。

高度専門人材養成プログラム

- ▶ 経済学に基づく高度な専門知識を備えた職業人を養成することを主たる目的とするプログラム。

東アジア持続的経済発展研究コース

- ▶ 日本や東アジアの経済について研究を行い、経済・社会の様々な問題の解決やその持続的発展に貢献する研究者やエコノミストを養成するプログラム。

修士課程修了に必要な単位数

研究者養成プログラム 30単位以上

- ▶ 基礎科目 6単位以上
- ▶ 専門科目 10単位以上
- ▶ 大学院共通科目 4単位まで
必修科目の研究倫理・研究公正（人社系）0.5単位を含む
- ▶ 特別研究（修士論文指導） 8単位

修士課程修了に必要な単位数

高度専門人材養成プログラム 30単位以上

- ▶ 基礎科目 10単位以上
必修科目のグループワーク 2単位を含む
- ▶ 専門科目 6単位以上
専門コア科目 4単位以上を含む
- ▶ 特別講義 単位の上下限なし
- ▶ 大学院共通科目 5単位まで
必修科目の研究倫理・研究公正（人社系）0.5単位を含む
- ▶ 修士論文ワークショップ 4単位

英語科目 4単位以上を履修単位に含めること。

研究者養成プログラム基礎科目 6 単位以上

研究者養成プログラム

講義コード	授業科目	週時間数	単位	担当教員	開講期	言語	科目区分	備考
A401000	上級ミクロ経済学	4	4	原千秋・陳珈恵	前期	B	基礎科目 (R)	
A402000	上級マクロ経済学	4	4	柴田章久・高橋修平	後期	J		
A403000	中級計量経済学	2	2	西山慶彦	後期	J		*
A404000	上級計量経済学	2	2	柳貴英	後期	J		
A405000	中級統計学	2	2	金谷太郎	前期	J		*
A406000	上級統計学	2	2	人見光太郎	前期	J		
A407000	経済学のための数学	4	4	関口格・新後閑禎	前期	J		
A408000	史的分析概論	2	2	竹澤祐丈・黒澤隆文	後期	J		
A409000	経営学原理	2	2	梶山泰生	前期	J		
A410000	経営学研究法	集中	2	若林直樹	前期集中	J		
A411000	財務会計論A	隔週4	2	藤井秀樹	前期	J		
A412000	管理会計論A	隔週4	2	澤邊紀生	後期	J		
A413000	Political Economy	2	2	八木紀一郎	後期	E		
A414000	世界経済史・経営史	2	2	西牟田祐二・坂出健・黒澤隆文	前期	J		
A415000	経済変動論	2	2	佐々木啓明	前期	J		
A416000	日本経済史・経営史	2	2	渡邊純子・田中彰	前期	J		

研究者養成プログラム専門科目 10単位以上

専門科目については、「学生便覧」の「1. 経済学研究科授業科目一覧表」の研究者養成プログラムのページを参照のこと。

研究者養成プログラム 履修ガイドライン

研究者養成プログラムの履修科目については、「学生便覧」に記載されている「9. 履修ガイドライン」を参考にして慎重に選択すること。

9. 履修ガイドライン等

教員名	研究分野	担当科目	指導教員として求める履修科目		修士論文・博士論文の指導上の方針
			履修すべき科目	履修することが望ましい科目	
砂川 伸幸	コーポレートファイナンス、証券投資	コーポレートファイナンス（経営管理）、バリュエーション（経営管理）	上級統計学 中級マイクロ経済学 上級計量経済学 経済学のための数学	財務会計A 上級マイクロ経済学 コーポレートファイナンス	コーポレートファイナンスや証券投資の実証分析を中心とした研究を行います。実証研究のためには、理論的な学術研究を読んで理解することが必要になります。この領域に興味がある人は、最近の Journal of Finance や Journal of Financial Economics の論文をながめてみてください。
依田 高典	情報通信経済学・行動経済学	産業組織の経済分析 ネットワーク産業の経済分析 リスク・環境経済学	経済学のための数学 上級マイクロ経済学 上級計量経済学	中級マクロ経済学または上級マクロ経済学	情報通信経済学または行動経済学に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した大学院基礎科目について「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。
岩本 武和	国際経済学・国際金融論	国際経済政策A 国際経済政策B 政策基礎論A	中級マイクロ経済学 中級マクロ経済学	上級マイクロ経済学 上級マクロ経済学	国際経済政策や国際金融政策に関する理論分析、政策分析、制度的・歴史的的分析に関心のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合は、ガイドラインに示した科目を履修していることを条件とします。
江上 雅彦	ファイナンス工学、不確実性下における最適化問題	ファイナンス工学1 ファイナンス工学2 ファイナンス工学特論A ファイナンス工学特論B	ファイナンス工学1・2 ファイナンス工学特論A・B 経済学のための数学	上級マイクロ経済学 上級計量経済学	確率モデルを使った最適化問題、派生証券の価格付け、リスク分析に興味のある学生を受け入れます。博士後期課程に進学する場合、履修すべき科目において平均で「B」以上の成績を修めることを指導の条件にします。

研究者養成プログラム 指導教員・担任教員

<指導教員>

修士論文の個別研究指導を受ける指導教員は、1年生前期（7月）に申請し、10月に正式決定します。申請には、事前に希望する指導教員と必ず面談の上、内諾を得てください。なお、10月の正式決定までに、個別に指導教員の内諾を得て、研究指導を受けることは可能です。指導するうえで履修すべき科目もありますので、履修登録までに希望する指導教員に内諾を得ておくことを推奨します。

指導教員を選ぶにあたり、「9. 履修ガイドライン等」に示される「指導教員として求める履修科目」を参考にしてください。准教授を指導教員とする場合は、教授1名を指導教員（副）として加えてください。

指導教員の変更を希望する場合は、「指導教員変更願」を提出してください。

<担任教員>

指導教員決定（もしくは内諾）前に、学修や研究上のアドバイス、各種支援（推薦状の作成等）を必要とする場合には、担任教員に依頼することができます。

研究者養成プログラム 博士課程進学要件

修士課程修了者が博士後期課程へ進学するためには、①修士論文審査の評価が「B」以上であること、②博士後期課程進学基準審査に合格していることが必要になります。

(1) 博士後期課程進学基準審査

博士後期課程進学の要件の一つとして、博士後期課程進学基準審査に合格していることが必要になります。博士後期課程進学後の研究領域を申請し、当該領域で指定された基礎科目群の内、2科目以上で「70点以上」以上の成績評価を取得していることが合格の要件となります。審査は博士後期課程進学時に行われますが、修士課程1年生後期終了時点で博士後期課程進学基準を満たすことが推奨されます。

博士後期課程研究領域および各領域で博士後期課程進学基準審査の対象とする基礎科目群（領域）及び科目は次の通りです。

<ミクロ・マクロ・計量経済学領域>

「上級ミクロ経済学」「上級マクロ経済学」「上級計量経済学」「上級統計学」「経済学のための数学」

<制度・歴史領域>

「史的分析概論」「日本経済史・経営史」「世界経済史・経営史」「経済変動論」「Political Economy」「上級ミクロ経済学」「上級マクロ経済学」「上級計量経済学」「経営学研究法」

<経営・会計領域>

「経営学原理」「経営学研究法」「財務会計論A」「管理会計論A」「中級計量経済学」

高度専門人材プログラム 基礎・専門コア科目

高度専門人材養成プログラム

講義コード	授業科目	週時間数	単位	担当教員	開講期	言語	科目区分	備考
A101000	経済の歴史と制度	2	2	根井雅弘・西牟田祐二	前期	J	基礎科目 (P)	*
A102000	ミクロ経済分析	2	2	若井克俊	前期	E		*
A103000	マクロ経済分析	2	2	安井大真	後期	J		*
A104000	グループワーク	2	2	劉徳強・Rusudan Kevkhisvili・根井	後期	J		P限定
A403000	中級計量経済学	2	2	西山慶彦	後期	J		*
A405000	中級統計学	2	2	金谷太郎	前期	J		*
A612000	統計データ分析基礎A	2	2	秋田祐哉	前期	J		*
A616000	統計データ分析基礎B	隔週4	2	松井啓之	前期	J		*
A211000	International Development Assistance Policy	集中	2	RALANDISON, Tsilavo	後期	E		専門コア 科目 (P)
A212000	ファイナンスのための数値計算	2	2	江上雅彦	後期	J	*	
A213000	金融経済分析の基礎	2	2	島本哲朗	前期	J	*	
A214000	ゲームと情報の経済学	2	2	高梨誠之	後期	J	*	
A215000	国際政治経済分析	2	2	坂出健	前期	J	*	
A216000	応用ミクロ計量分析	2	2	五十川大也	前期	J	*	
A593000	Firms & Industrial Organization in Japan	2	2	COLPAN, Meziyet Asli・曳野孝	後期	E	*	
A613000	統計データ分析応用A	2	2	秋田祐哉	後期	J	*	

高度専門人材プログラム 専門科目・特別講義

その他の（コアでない）専門科目と特別講義については、「学生便覧」の「1. 経済学研究科授業科目一覧表」の高度専門人材養成プログラムのページを参照のこと。

研究者養成プログラムの科目は、担当教員の承認を得ることが必要。承認され単位を取得した場合は専門科目の単位に加算される。

高度専門人材養成プログラム 指導教員・担任教員

指導教員・担任教員について

<指導教員>

修士論文の研究指導を受ける指導教員は、1年生後期（1月）に、希望する研究領域（①ミクロ・計量、②マクロ・ファイナンス、③制度・歴史の3領域の中から1領域を選択）を申請し、その結果を踏まえて、2年生前期開始時に決定します。指導教員による研究指導は「修士論文ワークショップ」（必修、2年生、前期・後期）を通じて行われます。

<担任教員>

修士論文の研究指導以外の学修上のアドバイスや、各種支援（推薦状の作成等）を必要とする場合には、担任教員に依頼することができます。

博士後期課程進学について

本研究科の博士後期課程は研究者養成を主たる目的としており、高度専門人材養成プログラムの修士課程修了者が博士後期課程への進学を希望する場合は、博士後期課程編入学試験（一般選抜）を受験し、合格しなければなりません。

大学院共通科目群

- 分野 (Field) : 社会適合 (Social Responsibility and Profitability)

科目名	英語科目名	単位
研究倫理・研究公正 (人社系)	Research Ethics and Integrity (Humanities and Social Sciences)	0.5
アントレプレナーシップ入門	Introduction to Entrepreneurship	0.5

社会適合分野から修了単位として認定される上限単位数は 1 単位 (※1)

(※1) 2018 (H30) 年度以前入学者は、0.5 単位

- 分野 (Field) : 情報テクノサイエンス (Computer Science and Information Technology)

科目名	英語科目名	単位
学術研究のための情報リテラシー基礎	Basics of Academic Information Literacy	0.5
データ科学：理論から実用へ I	Data Science: From Theory to Practical Use I	1.0
データ科学：理論から実用へ II	Data Science: From Theory to Practical Use II	1.0

情報テクノサイエンス分野から修了単位として認定される上限単位数は 2.5 単位 (※2)

(※2) 2018 (H30) 年度以前入学者は、1.5 単位

- 分野 (Field) : コミュニケーション (Language and Communication)

科目名	英語科目名	単位
大学院生のための英語プレゼンテーション	Presentation for Graduate Students	1.0
アカデミックプレゼンテーション (上級)	Academic Presentation Advanced Class	2.0
アカデミックプレゼンテーション	Academic Presentation	2.0
アカデミックディスカッション	Academic Discussion	2.0

コミュニケーション分野から修了単位として認定予定の上限単位数 2 単位

日本学術振興会特別研究員について

申請資格・支給経費・採用期間

(1) 特別研究員-DC1 (大学院博士課程在学者)

申請資格	在学年次	採用年度の4月1日現在、我が国の大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者(外国人も含む) ① 区分制の博士課程後期第1年次相当(在学月数12ヶ月未満)に在学する者 ② 一貫制の博士課程第3年次相当(在学月数24ヶ月以上36ヶ月未満)に在学する者 ③ 後期3年の課程のみの博士課程第1年次相当(在学月数12ヶ月未満)に在学する者 ④ 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第2年次相当(在学月数12ヶ月以上24ヶ月未満)に在学する者 ※ ①～③において、採用年度の4月に博士課程後期等に進学する予定の者を含む。 ※ 申請後、博士課程において休学をした場合は、申請資格を満たさない場合があるため留意すること。
	採用経験者の制限	特別研究員(DC、PD、SPD)に採用されたことがある者は申請できない
採用期間	3年間	
研究奨励金	月額 200,000円(支給予定額)	
研究費 (科学研究費助成事業)	毎年度 150万円以内	

博士課程に進学を予定する学生は修士課程2回生(2021年)の5月に申請すること。

2020年度前期履修スケジュール

4月 2日(木)～16日(木) 時間割作成期間

4月17日(金)～20日(月) 履修登録期間

4月23日(木)・24日(金) 履修登録確認修正期間

4月28日(火)17時 履修確定

4月29日(水)～5月5日(火) 履修登録確認表確認期間

6月18日(木) 創立記念日 (授業なし)

7月22日(水) 前期授業終了

7月23日(木)～29日(水) 前期試験期間

7月30日(木)～8月5日(水) 前期試験予備期間

8月 6日(木) 夏季休業始まり

※変更が生じた場合は随時お知らせします。